



# 富山ろうさい病院の紹介

## 診療科目

内科、消化器内科、脳神経内科、呼吸器内科、腫瘍内科、循環器内科、精神科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科、病理診断科



## 富山ろうさい病院の特色

富山ろうさい病院は、地域医療を担う中規模病院です。病床規模は大きくありませんが、あらゆる診療科を持つコンパクトな総合病院です。薬剤部のスタッフは各診療科に対応するために、それぞれ異なった専門分野の知識を深めています。スタッフ数は少ないものの、各領域のスペシャリストが揃っていることが当院薬剤部の魅力です。また、コンパクトな組織だからこそ入職時から実践的な業務に携わることができます。



顔の見える関係で医師・看護師ともコミュニケーションを取りやすい環境です



チーム医療においても薬剤師は不可欠  
各スタッフがチーム医療に参画しています

## 充実したサポート体制

富山ろうさい病院薬剤部のスタッフは各専門領域のスペシャリストが揃っています。各種臨床分野はもちろん、医療経済、地域連携、医薬品情報管理、院内情報システムなど非臨床の分野においても、わからないことは先輩達がサポートしてくれます。新人研修は「新人研修マニュアル」に沿って、チェックリストを活用しながら行なっています。フィードバックを行い、新人職員が自信をもって一歩ずつ能力を獲得していけるよう評価を行なっています。また、新人研修が終了した後も、クリニカルラダーを用いて各々のスキルアップ、キャリアアップにつなげています。



※各種専門領域は当院で活動している多職種連携医療チームをもとに記載しています

## 少数精鋭だからこそ 即戦力として実践できる！

富山ろうさい病院薬剤部のスタッフ数は多くありません。そのため、新入職員も早い段階であらゆる業務を実践することとなります。他施設に比べても、経験/成長が早いことが当院の魅力です。薬剤部スタッフ内での業務転換も柔軟に行っていますので、やりたい仕事は積極的に進めていくこともできます。

## 新人薬剤師を支える スキルアップの輪

富山ろうさい病院薬剤部で行う充実した研修は、初期研修のジェネラリスト教育（緑）から、その先のスペシャリスト教育（赤）に至るまで、先輩薬剤師や各種医療チームのメンバーも共に支えてくれます。上の図に示すような「スキルアップの輪」で新人薬剤師を支えていきます！

## 薬薬連携による交流

富山ろうさい病院のある魚津市は人口約4万人、高齢化率が34.3%と高齢化が進んでいます。このような地域においては、地域連携、薬薬連携の重要性が高いと考え、院外処方箋発行当初から20年以上薬薬連携を推進してきました。薬薬連携推進連絡会を定期開催し、保険薬局の薬剤師の方々と普段から顔の見える関係を構築しています。院外処方箋への臨床検査値表記を早期に実施できたのも、コンパクトな病院と町だからこそ。その後も疑義照会簡素化プロトコルやトレーシングレポート、入院・退院時の相互の情報提供も積極的に行い、地域住民の薬の安心・安全に寄与できるよう日々活動を行なっています。

高齢化に伴い、ますます重要になる「地域連携」  
当院と魚津市はやりたい熱意を速やかに実行できる！

## ポリファーマシー対策への取組

富山県薬剤師会が、令和4年度厚生労働省「高齢者医薬品適性使用推進事業」に、地域連携で行うポリファーマシー対策について応募し、採択されました。そして県内のモデル地域として魚津市が選ばれ、現在、富山労災病院、薬剤師会、医師会、そして魚津市が協力して、様々なポリファーマシー対策（研修会や患者さんへの啓発活動など）に取り組んでいます。

ポリファーマシー対策をはじめとした医薬品の適正使用を推進し  
コンパクトな町の地域特性を活かした「SGDsな取組」を実施します



院内のポリファーマシー対策チームにて多職種が参加しながら症例検討を行なっています



魚津市医師会の症例検討会にてポリファーマシーについて定期的に症例報告しています

## 地域に密着した活動

富山労災病院薬剤部は地域連携に貢献するため保険薬局や開業医に向けて情報を発信しながら交流しています

## 全国展開のメリット

全国に展開した32の労災病院グループ、横のつながりを活かして日々の業務における情報共有から全国規模の事業も行なっています

- ・ 労働者健康安全機構本部主催の医療職研修/薬剤師研修制度
- ・ 労災病院治験ネットワークを利用した治験の実施
- ・ スキルアップを支援する補助制度

〔 研究費支給：初年度60,000円(月あたり5,000円) 〕  
〔 派遣交流制度／転勤制度 〕

## 一 奨学金制度 一

当院では薬学部 に在学している方に、専門の勉強をしながら、より有意義な学生生活を送れるよう奨学金を貸与しています。卒業後、薬剤師免許を取得し、奨学金を受けた期間と同期間、当院に勤務されると返還免除となります。（詳細についてはお問い合わせ下さい）



全国32カ所に展開する労災病院グループ

## 富山ろうさい病院薬剤部はどんなところ？

当薬剤部は、令和4年に病院システムの更新を行った際、抗がん剤鑑査システムなど最新の調剤機器を揃えました。またスタッフ同士のコミュニケーションが活発に行われるように、スタッフルームは広がっています。



ピッカーにて注射薬調剤



調剤室にて調剤及び監査



抗がん剤調製



外来服薬指導

## 働く先輩たちの声

### がん・緩和薬物療法担当 上島 聖秀



がん治療は手術・放射線治療と並んで、薬物療法が主となります。当院では、日々進歩しているがん薬物療法を薬剤師がイニシアチブをとり、患者ごとに最適な治療を進めています。また、がんと診断された時からの緩和ケアを推進しており、医師・看護師などと連携し週に1回のチーム回診を行っています。医療用麻薬など緩和領域で使用する薬剤は注意する点が多く、薬剤師の力が不可欠です。当院でがん・緩和領域の認定薬剤師の取得を目指してみたいかがでしょうか。

### NST 担当 田中 みずほ



NSTは、病気や手術のために十分な食事が摂れない患者様に経腸、経静脈等の適切な栄養補給の方法の提案等を行っています。NST薬剤師は、経静脈栄養の処方提案や経管栄養投与を余儀なくされた患者様の簡易懸濁法による内服薬の投与等に病棟担当薬剤師と連携しながら、関与しています。健康な体をつくるのはもちろん、病気の体を支えるのも栄養です。病で苦しんでいる患者様を支える為に、まずは自身の栄養状態をより良くする！ことから一緒にやってみましょう。

### 生活習慣病担当 能澤 真希子



生活習慣病教室では楽しく学んで頂く事を目標に月に1度開催され、薬物療法を担当しています。時に「DMぶろじょくと一座」の一員として公民館でお話しさせて頂く事もあります。糖尿病治療薬について、基本的な使用法は勿論、様々な病態や生活様式に合った薬物療法について医師や病棟担当薬剤師から相談を受けています。他職種の方々と連携を取り、各々が専門分野を指導し、それが患者さんの行動変容に繋がったとき喜びを感じます。

### 感染制御担当 高橋 慎太郎



感染制御に関してICTやASTといったチームで活動しています。ICTでは感染対策に必要となる消毒剤の適正使用や、患者さんに投与される薬剤に汚染が生じないように看護師にレクチャーすることもあります。ASTでは抗菌薬の適正使用を行うために薬剤師が中心となり、医師/看護師/検査技師と共に感染症治療についての相談に応じています。抗菌薬のTDMについても病棟担当薬剤師と情報共有しながらサポートしています。TDMや抗菌薬の使い方は、どの病棟でも役に立ちますよ！

薬剤部はもちろん病院の雰囲気など実際に見てみないとわからない点もあります。薬剤部の見学は随時受け付けていますので、お気軽にご連絡ください。

下記QRコードから各種ページにアクセスできます、是非ご覧下さい。

#### 富山ろうさい病院 薬剤部紹介HP



薬剤部以外のページも是非ご覧下さい

#### 労働者健康安全機構 薬剤師募集HP



各病院HPへのリンク問合せ連絡先あり

#### マイナビ募集ページ



採用情報随時更新中



#### 薬剤部見学 随時受付中

お問い合わせは  
こちらへ



QRコードからも  
メールできます



#### 独立行政法人労働者健康安全機構 富山ろうさい病院

〒937-0042 富山県魚津市六郎丸992

TEL : 0765-22-1280

MAIL : [yakuzai01@toyamah.johas.go.jp](mailto:yakuzai01@toyamah.johas.go.jp)